

## H. 29-30 春の展示「ところ変われば備えも変わる あなたの街と自然災害」

八木 令子

### 博物館における災害展示を企画

21世紀は「自然災害の時代」とも言われるように、日本列島では各地で地震や火山の噴火、集中豪雨などが頻繁に発生しています。このような自然現象は、大地の姿を変えると同時に、「人の住む場所」では「災害」となります。その被害のようすは、どこの地域でも同じではなく、地形の高低差や地盤の強弱など、土地の性質や成り立ちと密接に関係しています。このことは、2011年の東北地方太平洋沖地震による被害分布などに顕著に表れており、この震災をきっかけに、自分が住む土地について関心を持つ人が増えてきました。しかし少し気になるのは、その対象が自分の家だけに限られていること、またその関心が長続きしないということです。自然災害を特別な出来事として見るのではなく、日々の生活の中で、より広い地域にも目を向けてほしいと考え、春の展示「ところ変われば備えも変わる あなたの街と自然災害」を企画し、平成30年3月3日から5月27日まで開催しました（写真1）。

### 展示の見どころはアナログ地形模型

この展示では、千葉県とその周辺を、台地や低地など、目で見てわかりやすい地形を基に6つの地域に分け（図1）、それぞれの地域の土地条件や成り立ちと災害との関係を示しました。

展示の見どころは、各地の土地のようすを示す手作りの地形模型です。私たちが生活している低地の地下には、およそ2万年前の最終氷期に形成された深い谷が埋まっていることがあり、谷の中には厚い軟弱な沖積層が堆積しています。埋立地はさらに人工地層（埋立土・盛土）で埋められ、その上にいろいろな建物が



写真1 春の展示の導入部分

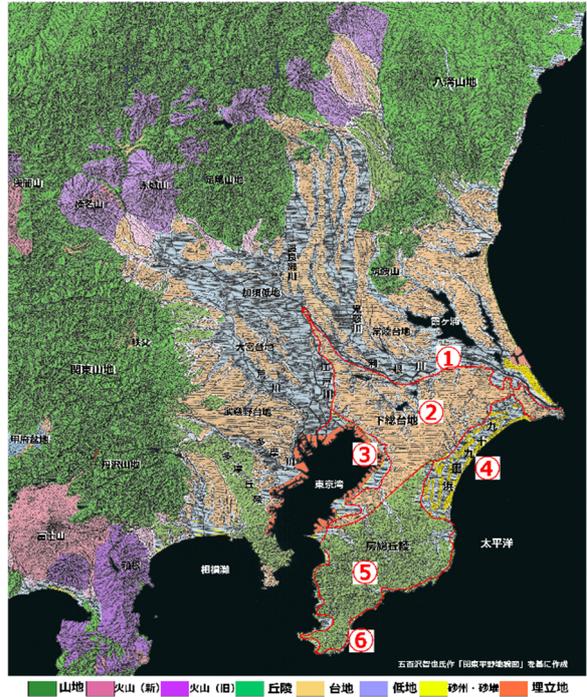


図1：千葉県の地域区分

五百沢智也氏作「関東地方地勢図（部分）」を基に吉村光敏氏作成

- ①大河川が作る低地（利根川・江戸川流域）
- ②台地と谷津（下総台地）
- ③東京湾岸の低地と埋立地
- ④広大な海岸平野（九十九里浜）
- ⑤山地・丘陵地
- ⑥房総南部の沿岸部

密集しているため、このような地形があることなどわかりません。そこで地面の下の隠れた谷（埋没谷）の上に、現在の海岸線や道路、鉄道、町の名前などを書き入れたアクリル板を置き、私たちがふだん生活している地域の地下がどうなっているのかわかるような「埋没谷地形模型」を作りました（写真2）。地盤がいいとか悪いとかというのはどうということなのか？—これらの模型からは、知りたいような知りたくないような情報がいろいろと見えてきました。

このほか、富士山の成り立ちや、広島市の土石流災害の発生場所を示すプロジェクト・マッピング型の地形模型、微細な地形の高低差がわかる九十九里浜全域の模型も新たに制作しました。九十九里浜の模型には、東北地方太平洋沖地震や1703年の元禄地震時の津波の浸水域を示しました。これらの展示資料を通して、



写真2 都川流域の埋没谷地形模型の展示

「身近な地域のことをよく知ることで、いつ起こるか分からない災害に備えることができる」というメッセージを伝えることを目指しました。

なおこれら地形模型の制作は、平成25～29年度文科省科学研究費助成事業基盤研究(C)「博物館における土地の履歴を読み解く防災教育の実践」(課題番号25350277)の一部を使用しました。

### 防災・減災 街歩き一災害目線で街を歩こう！

近年、ジオパークや街歩きなどがブームで、人々が地形や地質を見る機会も増えていることから、この展示では地域を地学的に見るポイントや調べ方、土地条件などがわかる地図情報、各地のハザードマップなども紹介してきました(写真3)。また展示の関連行事として、防災ジオツアー「津波避難ルートを歩く(旭市～銚子市)」や「東京の低地を歩く」を行い、多くの皆さんと野外を歩きました(写真4)。

過去に大きな地震や津波、水害などの被害を受けてきた地域には、あちこちに災害の痕跡が残っています。一方高い建物が建ち並ぶ街なかにも、標高を示す標識や、災害時の行動を示す看板などが目立つようになってきました(写真5)。このようなものに注目しながら、自分が住む身近な地域を、災害目線で歩



いて見ませんか。見過ごしていたものが見えてくるかもしれません。地域を理解し、愛着を持つことは、日々の生活を豊かなものにするとともに、防災・減災にもつながります。



写真3 各地のハザードマップの展示



写真4 カスリーン台風で決壊した桜堤(葛飾区)



写真5 電柱ごとに標高表示(大網白里市)

中央博展示紹介HP：

[www2.chibamuse.or.jp/www/NATURAL/contents/1521018434683/index.html](http://www2.chibamuse.or.jp/www/NATURAL/contents/1521018434683/index.html) (最終閲覧日：平成30年11月5日)

(地学研究科)